




Dell S3222HSモニター

Dell Display Manager

ユーザーガイド

モデル: S3222HS
規制モデル: S3222HSc



-  **注意:**注意は、コンピューターをより使いやすくするための重要な情報を示します。
-  **警告:**警告は、もし指示に従わない場合は、ハードウェアに対する損傷またはデータ損失が起こりうることを示します。
-  **危険:**危険は器物損壊、怪我、死亡に繋がる可能性を示します。

Copyright © 2021 Dell Inc.またはその子会社。All rights reserved.Dell、EMC、および、他の商標は、Dell Inc.またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021年08月

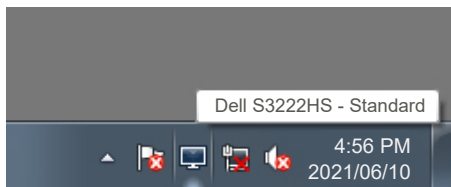
Rev. A00

目次

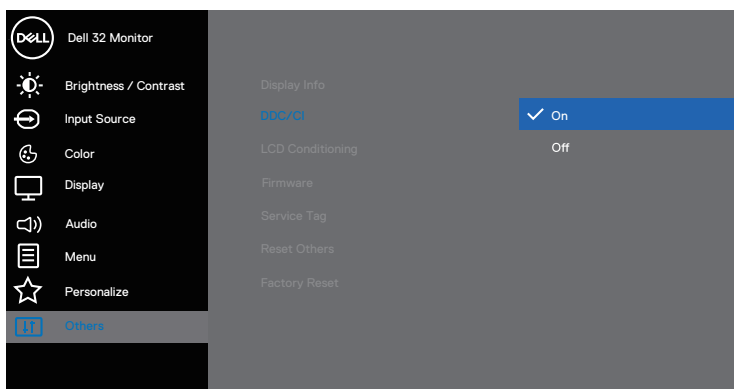
概要	4
クイック設定のオプションを選択する	5
ベーシックディスプレイ機能の設定	7
アプリケーションへのプリセットモード の割り当て	9
簡単な配列でウィンドウを整理する	10
複数のビデオ入力の管理	13
アプリケーション位置の復元	14
DDM をアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10 のみ)	16
省エネルギー機能を設定する	17
その他のショートカットキー	18
トラブルシューティング	19

概要

Dell Display Manager は、輝度、コントラスト、プリセットモードなどサポートされているDell製モニターの設定を行えるようにするアプリケーションです。インストール後、Dell Display Managerは通知トレイからアクセスできます。この通知トレイアイコンの上にマウスを置くと、システムに接続されたモニターの情報がいつでも得られます。



注意: Dell Display Managerはディスプレイデータチャンネルのコマンドインターフェース (DDC/CI) チャンネルを使用してモニターと通信します。DDC/CIを以下のようにメニューで有効にしてください:



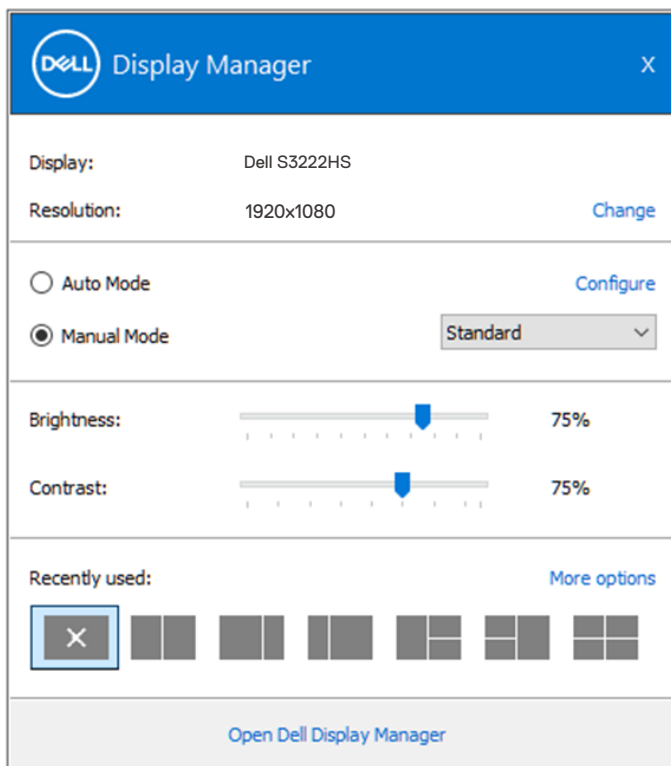
クイック設定のオプションを選択する

Dell Display Managerの通知トレイをクリックすると**Quick Settings (クイック設定)**ウィンドウが開きます。

2台以上のサポートされたDellモデルがシステムに接続されている場合、ディスプレイのドロップダウンリストを使用して特定のターゲットモニターを選択できます。

Quick Settings (クイック設定)ウィンドウで、以下の設定も変更できます。

- * 解像度
- * 画面の表示 (オートモードまたは手動モード)
- * 輝度とコントラストのレベル
- * モニターのウィンドウのレイアウトを簡単に変更



Quick Settings (クイック設定)ウィンドウで、**Open (開く) Dell Display Manager** をクリックして、さらに細かい設定を行えます。



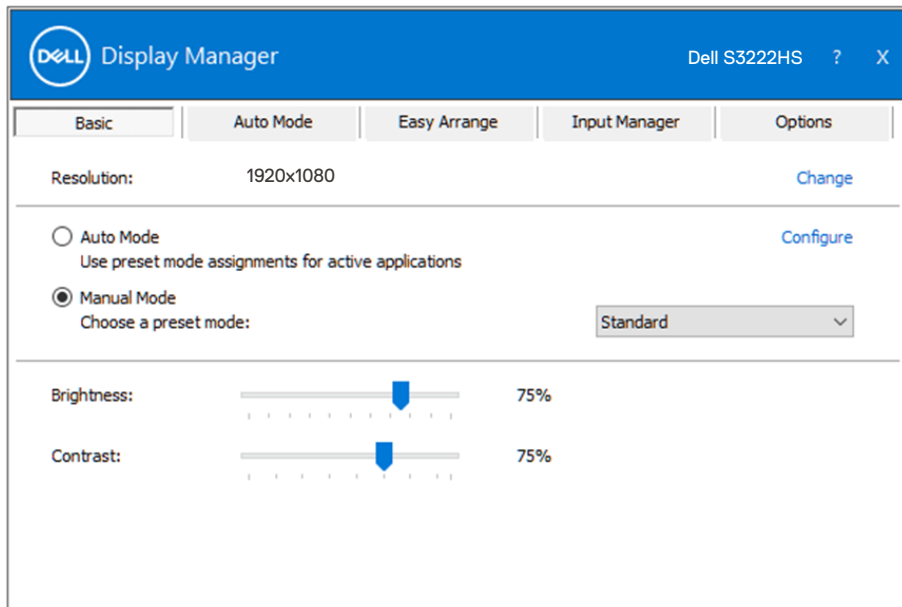
 **注意:**


特徴	機能	説明
クイック DDM アクセス	DDM UI を呼び出すためのクイックキー。	Ctrl+Shift+D
	マルチモニター設定で個別モニターを制御する	ドロップダウンボックスからモニターを選択し、選択したモニターにDellロゴを表示させます。 DDM UIを制御するモニターに移動させます。 Ctrl+Shift+Dを押して、マウスポインターの下にミニUIを表示させます。




ベーシックディスプレイ機能の設定

Manual Mode (手動モード) を選択して、プリセットモードを手動で選択したり、**Auto Mode (オートモード)** を選択して、アクティブなアプリケーションに基づいて、プリセットモードを適用したりすることができます。モード変更の度に、現在のプリセットモードが画面上に表示されます。選択されたモニターの輝度とコントラストレベルは、**Basic (ベーシック)** タブから直接調整できます。



 **注意:** 複数のDellモニターが接続されている場合、「Enable display matrix control (ディスプレイマトリクスコントロールの有効化)」を選択して、輝度、コントラスト、色プリセットコントロールをすべてのモニターに適用します。




 Display Manager Dell S3222HS ▾ ? X


Basic Auto Mode Easy Arrange Input Manager Options

Resolution: 1920x1080 [Change](#)

Auto Mode [Configure](#)
Use preset mode assignments for active applications

Manual Mode
Choose a preset mode: Standard ▾

Brightness:  75%

Contrast:  75%


Enable display matrix control



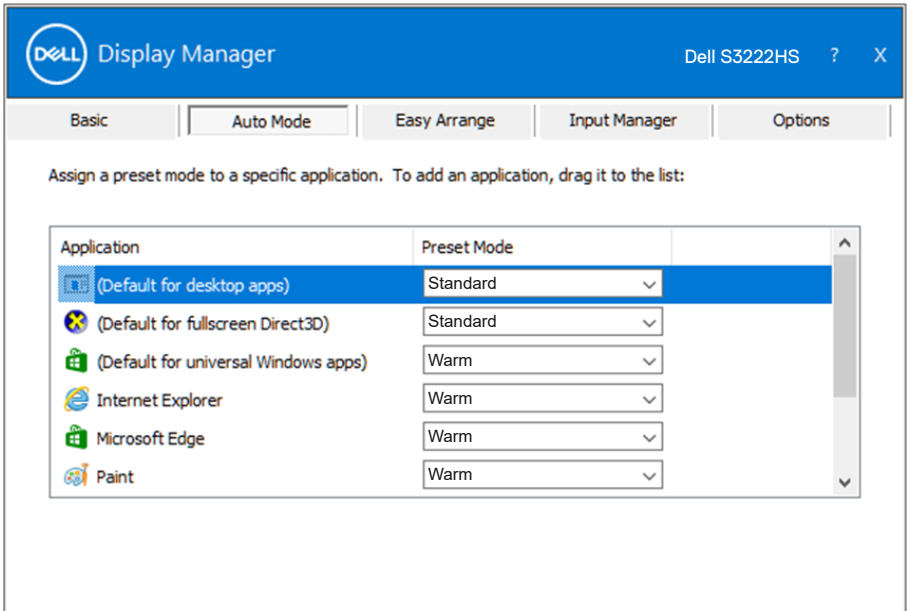
アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

Auto Mode (オートモード) タブでは、特定アプリケーションに特定のプリセットモードを割り当てて、自動的に適用することが可能です。**Auto Mode (オートモード)** が有効な場合、Dell Display Managerは関連するアプリケーションがアクティブであれば、常に対応する**Preset Mode (プリセットモード)** に自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられた**Preset Mode (プリセットモード)** は、接続されているモニターすべてで同じ場合も、そのプリセットモードがモニターごとに1つずつ異なる場合もあります。

Dell Display Managerは多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windowsの[スタート]メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

 **注意:** バッチファイル、スクリプト、ローダー、およびzipアーカイブや圧縮されたファイルのような、非実行ファイルに対するプリセットモード割り当てはサポートされません。

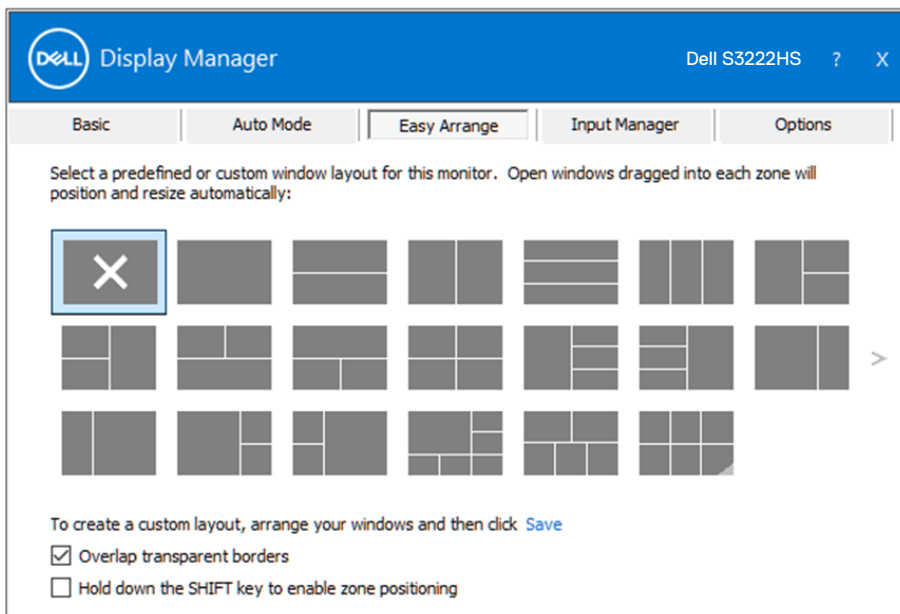
また、Direct3Dアプリケーションをフルスクリーンモードで実行するときに必ず使用するゲームプリセットモードを構成できます。アプリケーションがモードを使用しないようにするには、異なるプリセットモードを割り当ててください。




簡単な配列でウィンドウを整理する

対応するDellモニターでは、**Easy Arrange (簡単な配列)** タブを使って、事前定義されたレイアウトのいずれかで、開いているウィンドウをゾーンにドラッグすることにより、簡単に配列することができます。その他のレイアウトを検索するには、「>」を押すか、Page Up/Page Downキーを使用してください。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配列し、次に、**Save (保存)** をクリックしてください。

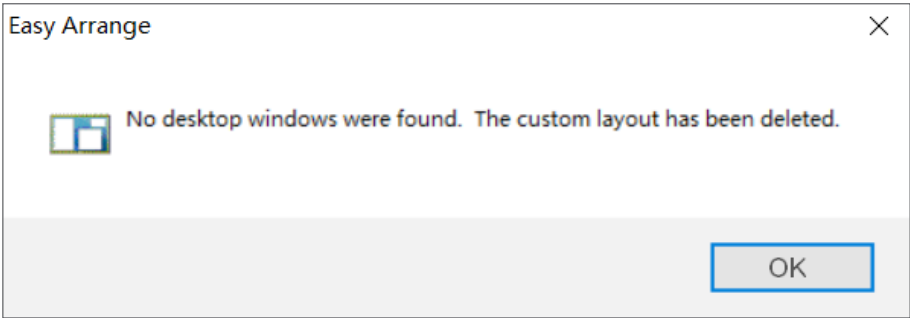
Easy Arrange (簡単な配列) を開始するには、利用対象のモニター選択し、事前定義されているレイアウトの1つを選択します。そのレイアウトの領域がモニターに一時的に表示されます。次に、開いているウィンドウをモニター内でドラッグします。ウィンドウがドラッグされている間、現在のウィンドウレイアウトが表示され、ウィンドウが領域の上を通過するとアクティブになった領域が強調表示されます。ウィンドウをアクティブな領域にドロップすると、その領域にウィンドウが置かれます。



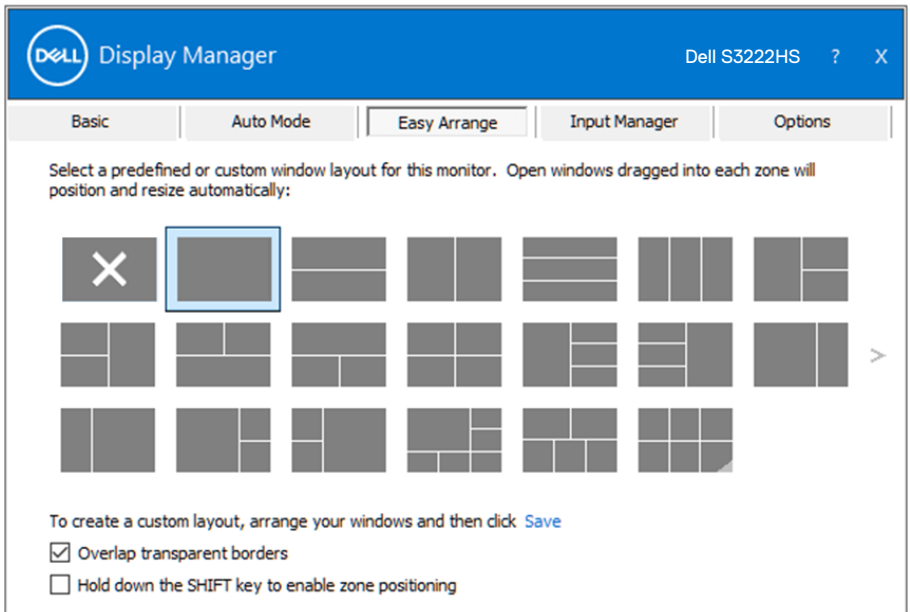
カスタムウィンドウレイアウトを作成するには、デスクトップ上でウィンドウのサイズと位置を決め、**Easy Arrange (簡単な配列)** の保存のリンクをクリックします。ウィンドウのサイズと位置がカスタムレイアウトとして保存され、カスタムレイアウトアイコンが作成されます。

 **注意:** このオプションでは、開いているアプリケーションが保存されず、記録されません。ウィンドウのサイズと位置だけが保存されます。






カスタムレイアウトを使用するには、カスタムレイアウトアイコンを選択します。現在保存されているカスタムレイアウトを削除するには、デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じ、**Easy Arrange (簡単な配列)**の保存リンクをクリックします。



Easy Arrangeを使用するための他の高度な方法があります。以下の表を参照してください。

特徴	機能	説明
強化された Easy Arrange (簡単な配列)	カスタムレイアウト	5つのカスタマイズされた Easy Arrange (簡単な配列) パターンを保存し、名前を付けます。 $x*y$ パターンを構成します。
	6つのMRU(最近使用した)レイアウト	Ctrl+Shift+Homeを押して、最後の6つのMRUレイアウトの間を循環します。
	オンザフライパーティションサイズ調整	レイアウト内のセルのサイズと数を調整するには、Ctrlキーを押しながら、現在の Easy Arrange (簡単な配列) レイアウトのサイズ調整を行います。 新しく形成された Easy Arrange (簡単な配列) パターンは、 Easy Arrange (簡単な配列) アイコン位置に保存されます。 デフォルトレイアウトに復元するには、Ctrlキーを押しながら、変更されたレイアウトアイコンをクリックします。
	縦表示モードの Easy Arrange (簡単な配列) レイアウト	モニターを回転すると、縦表示モードの Easy Arrange (簡単な配列) アイコンが表示されます。

 **注意:**アプリケーションは、そのアプリケーションウィンドウに対して最小の有効解像度を必要とする場合があります。ゾーンが必要なウィンドウサイズよりも小さい場合、そのようなアプリケーションはEasy Arrange (簡単な配列) ゾーンに適合しない可能性があります。

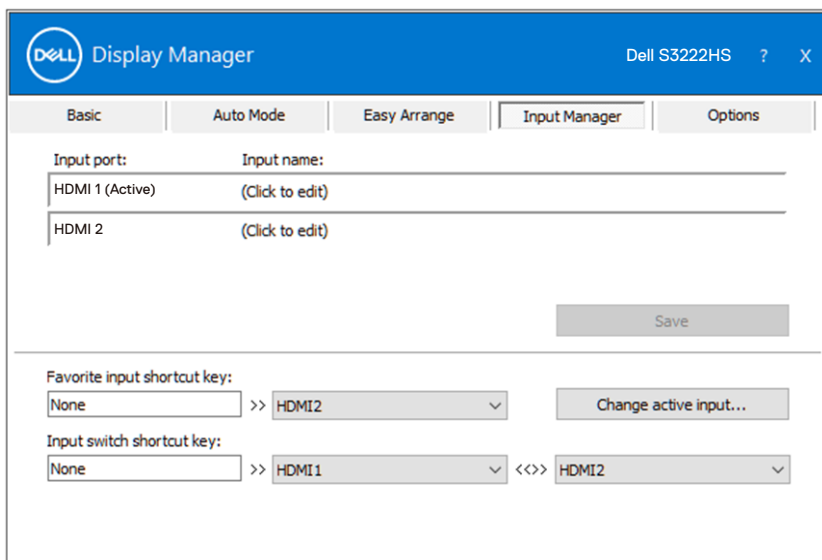


複数のビデオ入力の管理

Input Manager (入力マネージャー) タブでは、Dell モニターに接続されている複数のビデオ入力を利用可能な方法で管理できます。複数のコンピュータを使用しているとき、入力を簡単に切り替えられます。

モニターで利用できるすべてのビデオ入力が一覧表示されます。必要に応じて、各入力に名前を付けられます。編集後、変更内容を保存してください。

お気に入りの入力に簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。2つの入力で頻繁に作業する場合、その2つの入力を簡単に切り替えるためのショートカットキーを定義できます。

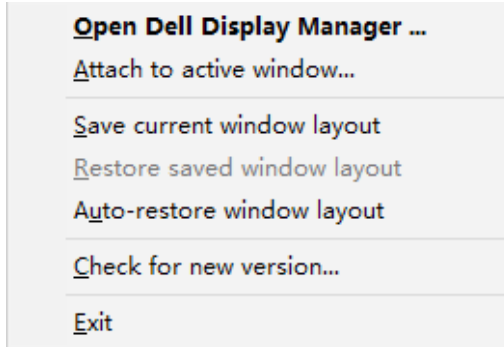


注意: Dell Display Manager (DDM)は、モニターが別のコンピュータからのビデオを表示しているときでも、モニターと通信しています。頻繁に使用するPCにDell Display Managerをインストールし、そこから入力切り替えをコントロールできます。モニターに接続されている他のPCにDell Display Managerをインストールすることもできます。

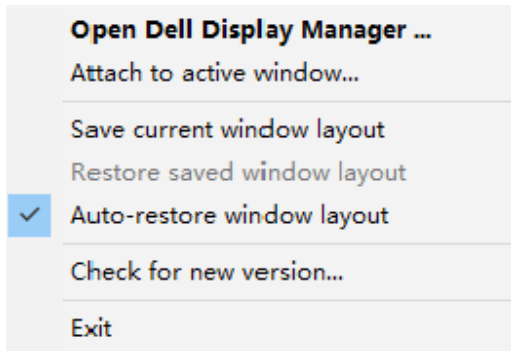


アプリケーション位置の復元

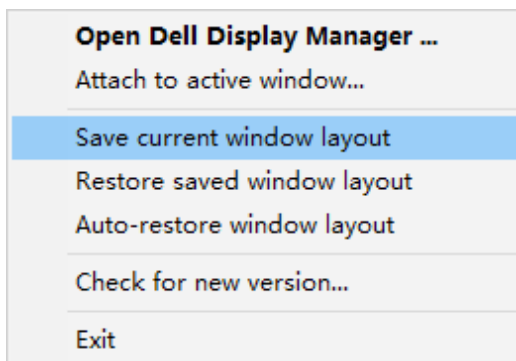
Dell Display Manager により、コンピュータをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを所定の位置に復元できます。通知トレイのDell Display Managerアイコンを右クリックすることにより、この機能に素早くアクセスできます。




「**Auto-restore window layout (ウィンドウレイアウトの自動復元)**」を選択すると、Dell Display Managerにより、アプリケーションウィンドウの位置が追跡・記憶されます。Dell Display Managerは、PCをモニターに再接続するとき、アプリケーションウィンドウを元の位置に配置します。



アプリケーションウィンドウを移動させた後、お気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず、「**Save current window layout (現在のウィンドウレイアウトを保存)**」を行い、後で、「**Restore saved window layout (保存されたウィンドウレイアウトを復元)**」を行うことができます。



日常業務において、異なるモデルまたは解像度のモニターを使用し、異なるウィンドウレイアウトをモニターに適用することができます。Dell Display Manager は、接続されるモニターを認識し、それに応じて、アプリケーション位置を復元できます。モニターマトリクス構成内のモニターを交換する必要がある場合、交換前にウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを設置後、そのレイアウトを復元できます。

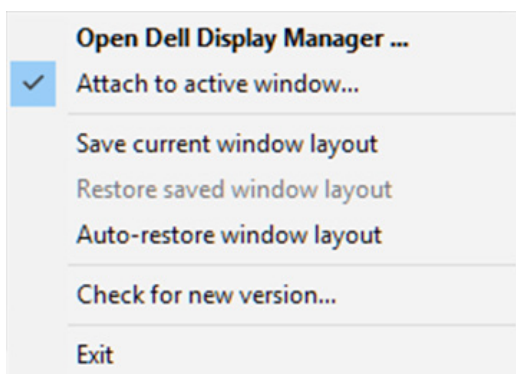
 **注意:**この機能を活用するために、アプリケーションを実行し続ける必要があります。Dell Display Managerは、アプリケーションを起動しません。



DDM をアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10 のみ)

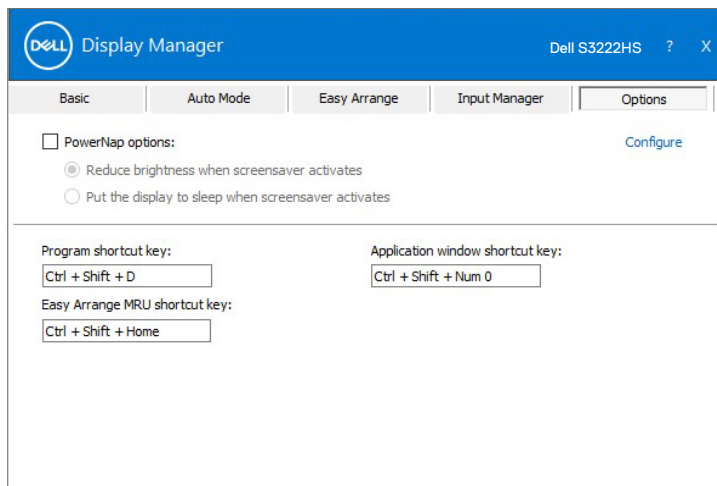
DDMアイコンを作業中のアクティブウィンドウに取り付けることができます。アイコンをクリックして、次の機能に簡単にアクセスします。

特徴	機能	説明
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Window 10のみ)	プリセットまたはスナップを異なるパターンに変更する	DDMアイコンがアクティブウィンドウに取り付けられ、ウィンドウ位置の切り替え、カラープリセットモードの変更、自動プリセットモードの関連付けを容易に行うことができます。
	ショートカットキーのトリガー	また、実行中のアプリウィンドウで、Ctrl+Shift+Insを押して、取り付けられたDDMメニューをトリガーできます。
	アプリウィンドウを Easy Arrange セル間で移動させる	アプリウィンドウを前/次の Easy Arrange に送ります。
	アプリウィンドウをモニター間を移動させる	アプリウィンドウを前/次のモニターに送ります。



省エネルギー機能を設定する

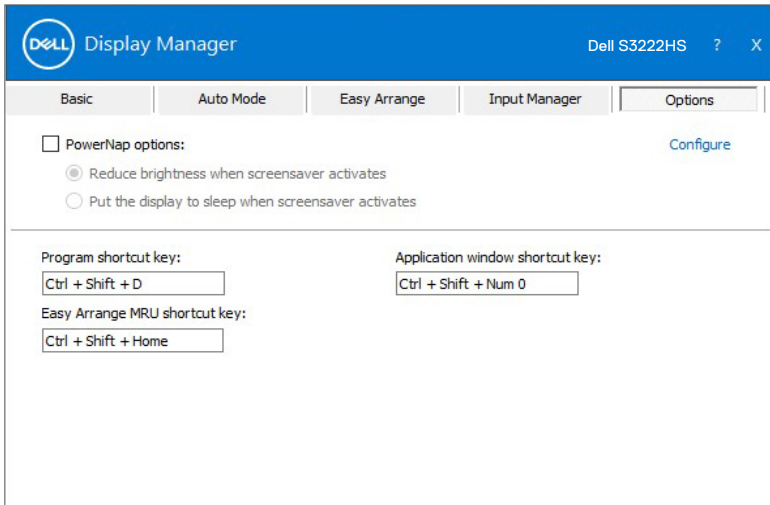
サポートされるDellモデルでは、PowerNap省エネルギーオプションを提供するために、**Options (オプション)** タブが利用できます。モニターの輝度を最小レベルに設定したり、スクリーンセーバーが有効になったとき、モニターをスリープ状態に移行させたりすることができます。



その他のショートカットキー

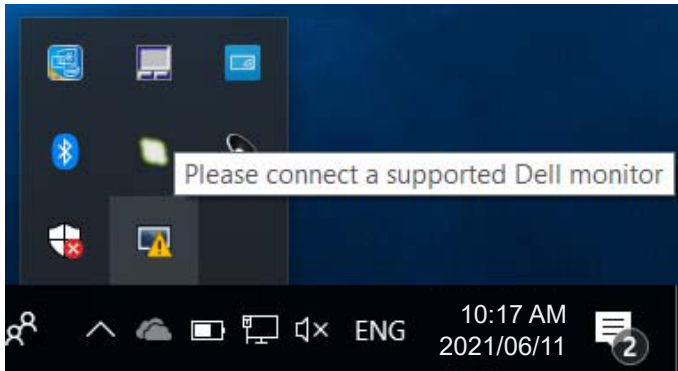
以下の操作でショートカットキーを指定できます。

- **Program shortcut key (プログラムショートカットキー)** : Quick Settings (クイック設定) ダイアログボックスをすばやく開きます。
- **Easy Arrange MRU shortcut key (簡単な配列MRUショートカットキー)** : 最近使用した5つのウィンドウレイアウトをすばやく適用します。
- **Application window shortcut key (アプリケーションウィンドウショートカットキー)** : Auto Mode (オートモード) および Easy Arrange (簡単な配列) のオプションのクイックメニューを起動します。

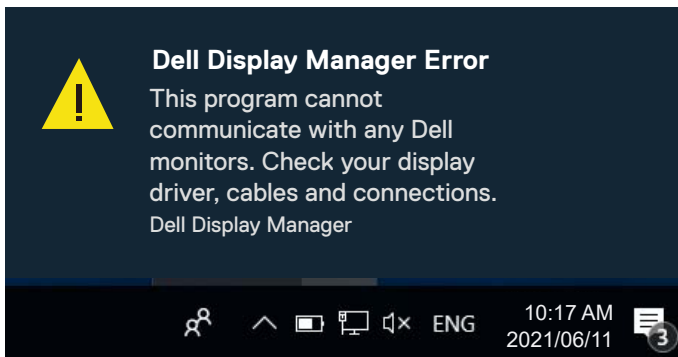


トラブルシューティング

DDMはサポートされているDellモニターでのみ動作します。DDMは他のメーカーのモニターをサポートしません。DDMが、お使いのモニターと共に動作できない場合、DDMは、通知トレイに次のアイコンを表示します。



アイコンをクリックすると、**DDM**が、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDMが、サポートされるDellモニターを検出できない場合および/または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うために次の手順を行ってください。

1. モニターとコンピューターの間にはビデオケーブルがしっかりと接続されていることを確かめます。コネクタは正しい位置で確実に挿入する必要があります。
2. DDC/CIが有効であることを確認するために、モニターのOSDをチェックします。
3. Intel、AMD、NVIDIAなどのグラフィックカードメーカーから、適切かつ最新のグラフィックスカードドライバーを入手してください。グラフィックスカードが互換



でなかったり旧バージョンの場合、DDMは動作しません。

4. モニターとグラフィックスポートとの間のドッキングステーション、延長ケーブルまたはコンバータを取り外します。一部の廉価なエクステンダー、ハブまたはコンバータは、適切にDDC/CIをサポートしていない可能性があり、DDMアプリケーションを動作させることができない場合があります。最新バージョンが利用可能な場合、そのようなデバイスのドライバを更新します。
5. コンピューターを再起動します。

DDMは、次のモニターでは動作しない場合があります。

- 2013年以前のDellのモニターモデルおよびDシリーズのDellモニター。更なる情報については、Dell製品サポートウェブサイトをご参照ください。
- NvidiaのベースのG同期技術を使用するゲーミングモニター。
- 仮想およびワイヤレスディスプレイは、DDC/CIをサポートしません。
- DisplayPortバージョン1.2を搭載する旧モデルのモニターでは、モニターのOSDを使用してMST/DP 1.2を無効にする必要がある可能性があります。

お使いのコンピューターがインターネットに接続されている場合、DDMアプリケーションの新しいバージョンが利用可能なときにメッセージが表示されます。最新のDDMアプリケーションをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

また、DDMアイコンを右クリックしながら「シフト」キーを押して、新しいバージョンをチェックすることができます。

